

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072200369		
法人名	社会福祉法人恵仁福祉協会		
事業所名	萩・曲尾グループホーム		
所在地	長野県上田市真田町傍陽6185番地2		
自己評価作成日	平成 24年 11月 29日	評価結果市町村受理日	平成 25年 1月 29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 24年 12月 12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ほとんどのご利用者が旧真田町の方で馴染みのある地域です。今までの曲尾の古い住まいから新しい萩の新築の住まいになりましたが、ご家族やご近所の方がよく訪問して下さります。顔なじみの方々とまた馴染みの職員に囲まれ、新しい環境にも慣れてきました。地域へも出かけたり、自治会の行事に参加したり、地域の方に来ていただいたり交流を進めています。お一人お一人の生活ペースで暮らせるように、また、お一人お一人ができることをし助け合い、気持ちよく暮らしていただいています

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成10年に曲尾地区に古民家改修のホームして開設された歴史のあるホームである。平成24年5月に防災上の理由により萩地区に移転した。空気が澄んだ晴れた日には富士山が遠望できるという住宅地に、木のぬくもりと畳の匂いのする萩・曲尾グループホームとして利用者6人体制を継続し再スタートした。萩地区では初めての福祉施設ということで住民の方々へ何回も説明をし、棟上げ式には昔からの風習の「ごち餅」が振舞われた。一月遅れで通所介護「萩の家」も開所した。グループホームとしては先駆者的存在だが、萩地区の住民としての新たな気持ちで利用者の生活の安定と地域の一員として受け入れてもらえるように日々努力を重ねている。旧ホームの環境を継続することを職員が心がけたことから、職員よりも利用者の方のほうが新しいホームに先に馴染んだという。広いリビングには仏壇が置かれ、その中には利用者であった8人の遺影が飾られていた。「新しい家に連れて来てくれてありがとう。いいところだね」と言っているような気がした。「住み慣れた地域にあせらず一緒に暮らす」というホームの理念が着々と実行に移されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		